



平成 28 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 アプリックス IP ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役 兼 取締役社長 郡 山 龍
(コード：3727、東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 長 橋 賢 吾
(TEL. 050-3786-1715)

アプリックスの浄水器用 IoT 技術搭載製品、世界最大手キッチンシンクメーカーが発表 ～ 既存製品に後付け可能なため、今後浄水器の IoT 化を一気に加速 ～

当社は、キッチンシンクメーカーの世界最大手のFrankeが、浄水器をInternet of Things (以下「IoT」)化する当社のソリューションを採用した製品を、キッチン・バス業界の世界最大の見本市であるKitchen & Bath Industry Show 2016 (KBIS) にて発表したことをお知らせいたします。

記

1. 内容

当社の浄水器用 IoT 技術を搭載し、KBIS で発表された製品では、浄水器が浄化した水の量を自動的に検出し、利用しているフィルターの種類ごとに交換が必要になったタイミングでユーザーに知らせるだけでなく、クラウドと連携した遠隔管理機能にも対応しているため、利用状況に合わせて最適な状態を維持して健康的な生活環境をストレスなく実現できるサービスの提供も可能です。

本製品の最大の特徴は、すでに利用中の浄水器に後から取り付けることが可能なため、新しい浄水器に買い換える必要がないことです。全てのお客様がご利用中の浄水器を簡単に IoT 化することができ、IoT が実現する新しい生活環境をすぐに享受できます。

また、浄水器メーカーは新しい浄水器に買い換えてもらうことなく、浄水性能を維持するために必要なフィルターの販売を堅実に伸ばしていくことが可能になるだけでなく、今後販売する浄水器とセットにして提供することで、全ての製品を IoT 化することができます。ユーザーは IoT 化によりフィルター交換が必要になった時に交換用フィルターの型番を知らせてもらえるだけでなく、通知を受けた時に簡単にネット通販等で購入できるようになります。

当社は、浄水器用のフィルターの売り上げからのレベニューシェアを得る契約をすでに締結済みであり、新しい浄水器に買い換えることなく当社の浄水器を IoT 化するソリューションを利用してもらえるため、レベニューシェアの対象となる浄水器の台数が今後急速に増えて行く見込んでおります。

当社では、先行している浄水器の IoT 化技術と採用実績を武器に、既に契約締結済みの様々な国や方式の大手メーカーに加え、今後はグローバルな総合大手メーカーとの契約締結を増やしていき、市場規模が 4 兆円を超える浄水器のグローバルマーケット※における確固たる地位を固め、交換用のフィルターや維持メンテナンスのサービスから得るレベニューシェアにより、利益率の高いビジネスモデルを構築していきます。

2. 今後の見通し

本件が当社業績に与える影響は現在精査中ではありますが、当社グループの平成 28 年 12 月期の通期連結業績予想数値に反映する予定です。

※典拠：TechSci Research (2015 年)

以 上